

平成 25 年度主要事業の取り組みについて

I 観光立国の実現 (政策提言事業等)	
「観光立国推進協議会」の開催	2
「観光立国タウンミーティング」の開催	2
「日・ASEAN の観光交流を深める会」の開催	2
「2013 日台観光サミット in 三重」の開催	3
II 広報啓発	
広報 WEB サイトによる会員への情報提供	3
季刊観光とまちづくりの発行	4
III 観光地域づくり	
「魅力ある観光地域づくり推進モデル事業」の実施	4
観光地域づくりシンポジウム・研究会の開催	4
第 62 回日本観光ポスターコンクールの実施	5
IV 人材育成	
地域における観光地域づくり人材育成研修の支援	7
講師情報の提供	7
地域の観光ボランティア組織と連携した研修の実施	8
産学連携によるオープンセミナー / 寄附講義の実施	8
V 観光交流活性化	
「旅フェア日本 2013」の開催	9
台北国際旅行博 (ITF) への出展支援	9
訪日外国人受入に関するタウンミーティングの開催	9
VI 新たな観光需要の創造	
産業観光・街道観光の推進	10
1 ウィークバカンスキャンペーンの展開	10
VII 観光情報整備	
全国地域観光情報の発信	11
バリアフリー観光情報の提供	11
VIII 調査・研究	
短期観光動向調査の実施	12
観光総合調査 (観光の実態と志向) の実施	12
受託調査の実施	12
IX 支部事業	13



I 観光立国の実現

○「観光立国推進協議会」の開催

行政、地域、産業界が一体となり、今後の観光立国推進に向けて指針を示す「観光立国推進協議会」を設置し、第1回協議会を平成26年1月27日(月)に開催した。

第1回観光立国推進協議会

- ・日時：平成26年1月27日(月)
- ・場所：東京プリンスホテル「サンフラワーホール」
- ・内容：基調講演 水野正人氏
(東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会CEO)
意見交換、趣旨説明、大会宣言



○「観光立国タウンミーティング」の開催

観光は日本の力強い経済を取り戻すための極めて重要な成長分野であり、地域が主体となった観光振興を推進するために、「観光立国タウンミーティング」を実施した。

観光立国タウンミーティング in 愛媛

- ・日時：平成25年10月18日(金)
- ・場所：松山全日空ホテル「ダイヤモンドボールルーム」
- ・内容：基調講演 清水一郎氏(国土交通省観光庁観光戦略課長)
パネルディスカッション



観光立国タウンミーティング in 福島

- ・日時：平成26年2月7日(金)
- ・場所：ホテル福島グリーンパレス「瑞光(西の間)」
- ・内容：基調講演 長谷川伸一氏(国土交通省東北運輸局長)
パネルディスカッション

○「日・ASEANの観光交流を深める会」の開催

平成25年7月1日からのASEAN5カ国に対するビザ免除や数次ビザ化の実施及び日・ASEAN友好協力40周年を契機として、

8月5日(月)、日・ASEANの観光交流を深める会実行委員会(実行委員長：公益社団法人日本観光振興協会会長 山口範雄)は、日本とASEAN諸国との相互のさらなる交流拡大に向けた取り組み強化や気運の醸成を図るため、各国の幅広い関係者が一堂に会する「日・ASEANの観光交流を深める会」を開催した。



I 観光立国の実現

○「2013 日台観光サミット in 三重」の開催

6回目となる今回は、平成 25 年 5 月 31 日に三重県志摩市にて過去最多の 214 名が参加して開催された。

「日台の共通テーマによる地域間観光交流の推進」、「日台双方のスポーツ・文化・歴史等を活用した相互観光交流の推進」、「日台交流施策の広報、PR活動の推進」の3点について活発な議論が行われ、最後に、日台双方で 2016 年までに相互交流人口 400 万人をめざすことを盛り込んだ「三重宣言」を採択した。次回の「日台観光サミット」は台湾南部の屏東県で開催。

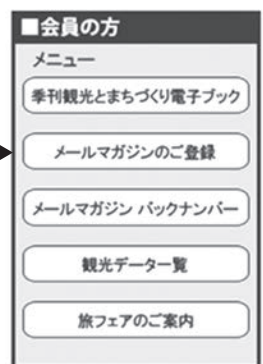


II 広報啓発

○ 広報 WEB サイトによる会員への情報提供

日本観光振興協会のWEBサイト（<http://www.nihon-kankou.or.jp/home/>）のリニューアルを行い、当協会事業の実施状況の発信充実を図るとともに、会員専用ページを設置し、観光統計データや電子版「観光とまちづくり」などの情報提供を開始した。また、会員が直接情報発信できるページも併せて設置した。

会員専用ページの開設



会員専用の情報を提供

会員からの情報を直接発信

II 広報啓発

○ 季刊観光とまちづくりの発行

本年度においては、観光情報誌「観光とまちづくり」を年4回発行した。

地方自治体、観光協会、観光関係団体、企業などに各地域における先進的取り組みや観光魅力の創出事例の紹介などを行い、地域の観光振興を支援した。

平成25年度の発行実績

春号 5月25日発行 特集「地域鉄道と観光ーローカル交通と地域活性化ー
夏号 8月12日発行 特集「観光ホスピタリティの心を育てる」
秋号 11月8日発行 特集「豊かな自然を活かした観光まちづくり」
新年号 1月31日発行 特集「ジャパン・ブランドの発信」



III 観光地域づくり

○ 「魅力ある観光地域づくり推進モデル事業」の実施

本モデル事業では、地域内における観光地域づくり推進のための協力・連携体制を構築し、魅力ある観光地域づくりに向けた事業の実現可能性を探るため、熱意をもって観光地域づくりに取り組んでいる地域を4カ年で8カ所選定し、支援する。

平成25、26年度対象地域を2カ所、平成26、27年度対象地域を3カ所選定し、観光地総合診断調査や専門家からのアドバイスを元に、地域が主体となって事業計画を策定するとともに事業を実施している。

対象地域（27、28年度対象地域3カ所については26年夏に募集予定）。

25、26年度	新潟県十日町市	岐阜県下呂市	
26、27年度	福島県三春町	愛知県三河地域	滋賀県大津市

○ 観光地域づくりシンポジウム・研究会の開催

都道府県、観光協会（連盟）、観光地域づくりプラットフォーム推進機構と連携を図りながら、観光地域づくり基盤形成における課題解決にむけたシンポジウムや「日本版DMO」の概念の普及と形成支援を進めるための研究会等を開催することにより、観光地域づくりの基盤整備を進めた。

山梨シンポジウム

「観光振興による地域活性化

～プラットフォームによる地域連携を考える～

日時：平成25年12月11日（水）

場所：山梨県立図書館 参加者：100人

東京シンポジウム

「地域振興のための観光マーケティングとマネジメント」

日時：平成26年2月21日（金）

場所：飯田橋レインボービル 参加者：127人

Ⅲ 観光地域づくり

(研究会)

第1回 『「日本版DMO」形成に向けた論点整理』平成25年9月19日(木) 講 師：小林 賢弘氏(株式会社日本政策投資銀行 地域企画部 主任研究員)
第2回 『観光地域経済統計とROI』平成25年10月15日(火) 講 師：神山 裕之氏(株式会社野村総合研究所社会システムコンサルティング部上級コンサルタント)
第3回 『DMOの財源について』平成25年11月13日(水) 講 師：小野塚 昭治氏(一般社団法人南魚沼市観光協会 代表理事・会長)
第4回 『認証制度と品質管理：英グリーンツーリズムと日仏の「最も美しい村」連合を事例として』平成26年1月22日(水) 講 師：依田 真美氏(NPO法人「日本で最も美しい村連合」資格委員)

* DMO…Destination Management/Marketing Organization



○ 第62回日本観光ポスターコンクールの実施

昭和22年より、観光宣伝ポスターの質的向上と国内観光振興の促進を目的として開催してきた観光ポスターコンクールを本年度も引き続き実施した。

ポスターは観光宣伝だけでなく消費者を旅へと導くきっかけをつくる役割を担っていることから、選考過程に一般消費者による視点を取り入れるためオンライン投票を昨年度より導入している。



募集期間：平成25年10月4日～平成25年12月27日
応募数：189点
第1次審査通過数：49点
投票キャンペーン：平成26年2月6日～3月10日
審査委員会：平成26年3月18日
結果発表：平成26年3月27日
*詳細は、<http://compe.japandesign.ne.jp/poscon2013/> まで



Ⅲ 観光地域づくり

平成 25 年度第 62 回日本観光ポスターコンクール受賞作品

賞	作品名	出品者
国土交通大臣賞	恵那市岩村 人と自然が織りなす物語。	岐阜県恵那市
総務大臣賞	ありのままの宜野座村の暮らし	沖縄県 宜野座村観光推進協議会
観光庁長官賞	秋田デスティネーションキャンペーン	JR グループ
日本観光振興協会会長賞	仙台・宮城デスティネーションキャンペーン	JR グループ
審査員特別賞	いつきてもホッ！ほの国東三河	愛知県東三河広域観光協議会
	眠っているのが、惜しくなる。函館	函館市観光コンベンション部ブランド推進課
	東北の魅力は人だと思ふ。	ソーシャルコネクト
入賞	「森と暮らす日々」	NPO法人しもかわ観光協会
	アゲハチョウの夜景	青森県むつ市
	東北宣伝「古牧温泉・青森屋『ねぶり流し』」	東日本旅客鉄道株式会社東京支社営業部
	大人の休日倶楽部	東日本旅客鉄道株式会社
	うまさぎっしり新潟	公益社団法人新潟県観光協会
	「富山で休もう。」ポスター	富山県観光・地域振興局観光課
	宇治市観光ポスター	公益社団法人宇治市観光協会
	「岡山後楽園・岡山城」PR ポスター	公益社団法人おかやま観光コンベンション協会 公益財団法人岡山県郷土文化財団
神話のふるさとみやぎきポスター「神話の源流へ。」	宮崎県 *オンライン投票 1 位	



国土交通大臣賞
受賞作品



総務大臣賞受賞作品

IV 人材育成

○ 地域における観光地域づくり人材育成研修の支援

公募により地域における観光人材育成研修の支援を行っている。平成 25 年度は下記 13 カ所にて実施した。

平成 25 年度実施団体

観光総合研修	インバウンド研修
越前町 平成 26 年 2 月 5 日 (水) 参加者数: 35 名	公益社団法人ツーリズムおおいた 平成 25 年 12 月 17 日 (火) 参加者数: 21 名
着地型旅行商品開発研修	観光地域づくりの推進体制強化のための観光地域づくり人材研修
公益社団法人青森県観光連盟 平成 25 年 12 月 5 日 (木) 参加者数: 35 名 宮城県 平成 26 年 1 月 24 日 (金) 参加者数: 35 名 公益社団法人鳥取県観光連盟 平成 25 年 10 月 30 日 (水) 参加者数: 19 名 公益社団法人島根県観光連盟 平成 25 年 12 月 6 日 (金) 参加者数: 7 名 一般財団法人徳島県観光協会 平成 25 年 12 月 20 日 (金) 参加者数: 12 名 一般社団法人駒ヶ根観光協会 (長野県) 平成 25 年 7 月 25 日 (木) 参加者数: 12 名	一般社団法人南魚沼市観光協会 (新潟県) 平成 26 年 1 月 28 日 (火) 参加者数: 25 名 一般社団法人下呂温泉観光協会 (岐阜県) 平成 25 年 11 月 20 日 (水) 参加者数: 35 名 南丹市観光まちづくり実行委員会 (京都府) 平成 25 年 11 月 14 日 (木) 参加者数: 21 名 小林市 (宮崎県) 平成 25 年 10 月 28 日 (月)、29 日 (火) 参加者数: 14 名
	おもてなし研修
	公益財団法人高知県観光コンベンション協会 平成 25 年 9 月 25 日 (水) 参加者数: 85 名



○ 講師情報の提供

地域における人材育成活動を支援するため、当協会にて講師を依頼したことがある方々、各地域で開催された研修会等で実際に講師を行ったことがある方々の紹介や研修の分野や対象に応じたカリキュラムなどの情報提供を行った。

講師情報データベース

<http://www.nihon-kankou.or.jp/home/jinzai/>



トップページ

講師詳細プロフィールページ

IV 人材育成

○ 地域の観光ボランティア組織と連携した研修の実施

魅力ある観光地域づくりを推進するため、牽引役となる担い手の育成が不可欠であり、その一環として観光ボランティアガイドのスキルアップを図る研修を支援している。

平成 25 年度は、公募により全国 12 カ所にて実施した。

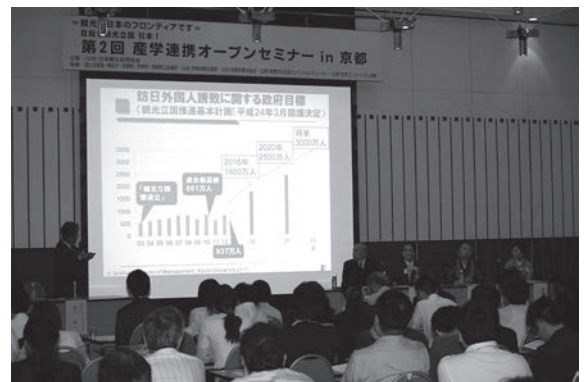
平成 25 年度実施団体

函館市まちあるきガイドセミナー（北海道） 平成 25 年 9 月 28 日（土）、10 月 19 日（土）、11 月 2 日（土）、12 月 7 日（土） 平成 26 年 1 月 18 日（土） 参加者数：延べ 92 名	あいち観光ボランティアガイドの会 観光ボランティアガイド人材育成研修会 平成 25 年 11 月 28 日（木）、12 月 13 日（金）、 平成 26 年 1 月 14 日（火）、2 月 7 日（金） 参加者数：延べ 144 名
第 3 回観光ボランティアガイド北陸大会 in 三国湊（福井県） 平成 25 年 8 月 31 日（土）、9 月 1 日（日） 参加者数：248 名	おもてなし三重観光ボランティアガイド 連絡協議会 平成 25 年度全体研修会 平成 25 年 9 月 25 日（水） 参加者数：207 名
あわら市おもてなし講演会&講習会（福井県） 平成 26 年 1 月 25 日（土） 参加者数：62 名	いなべ市観光ボランティアガイド養成オープン講座（三重県） 平成 25 年 10 月 24 日（木）、11 月 28 日（木）、12 月 12 日（木）、 平成 26 年 1 月 23 日（木） 参加予定者数：延べ 124 名
長野県 観光ガイド研修 平成 25 年 11 月 11 日（月）、11 月 18 日（月） 参加者数：延べ 54 名	広島県観光ボランティアガイド協議会 平成 25 年度ホスピタリティ研修会 平成 25 年 9 月 4 日（水） 参加者数：190 名
NPO 法人アルプス善意通訳協会「英語のスキルアップ・ホスピタリティの向上」研修会（長野県） 平成 25 年 9 月 26 日（木）、10 月 14 日（月）、11 月 10 日（日）、 12 月 8 日（日）、平成 26 年 1 月 19 日（日） 参加者数：延べ 180 名	直方市 観光ガイドスキルアップ（福岡県） 平成 25 年 11 月 14 日（木）、12 月 12 日（木）、 平成 26 年 1 月 9 日（木）、1 月 31 日（金） 参加者数：延べ 58 名
上田観光ガイド連絡会「信州上田観光ガイドスキルアップ講座」（長野県） 平成 26 年 2 月 6 日（木）、3 月 13 日（木） 参加者数：延べ 69 名	さいかいガイドの会 「雪浦ガイド育成事業」研修（長崎県） 平成 25 年 11 月 15 日（金）、12 月 2 日（月）、12 月 8 日（日）、12 月 19 日（土）、 平成 26 年 1 月 19 日（日）、1 月 20 日（月）、1 月 25 日（土）参加者数：延べ 69 名

○ 産学連携によるオープンセミナー / 寄附講義の実施

観光人材育成を目的に、大学生を主たる対象とした産学連携オープンセミナーを平成 25 年 9 月に京都で、平成 26 年 2 月に名古屋、東京（予選会は 12 月に実施）で開催した。

第 2 回産学連携オープンセミナー in 京都（関西地区予選） 平成 25 年 9 月 4 日（水） 参加人員 約 200 名 テーマ「目指せ観光立国日本～観光は日本のフロンティアです～」
第 10 回産学連携オープンセミナー予選会（関東地区予選） 平成 25 年 12 月 15 日（日） 参加人員 約 100 名 テーマ「観光立国・日本に対する取り組み」
産学連携オープンセミナー in 中部（中部地区予選） 平成 26 年 2 月 24 日（月） 参加人員 約 150 名 テーマ「ツーウェイツーリズム」
第 10 回産学連携オープンセミナー（本選） 平成 26 年 2 月 28 日（金） 参加人員 約 300 名 テーマ「ツーリズムの最先端」



第 2 回産学連携オープンセミナー in 京都

観光行政の幹部、ツーリズム産業界の第一線で活躍されている経営幹部及び実務経験者、また観光関係の学識経験者を大学に招いて、オムニバス形式で大学生に観光を学んでもらう寄附講義を開講した。

- ・ 京都大学経済学部 約 200 名聴講
- ・ 早稲田大学商学部 約 300 名聴講
- ・ 首都大学東京 約 500 名聴講
- ・ 一橋大学商学部 約 70 名聴講
- ・ 明治大学 約 100 名聴講



寄附講義風景

V 観光交流活性化

○「旅フェア日本 2013」の開催

都道府県、観光協会、観光関連団体、産業界等と調整を図り、着目する観光のテーマ（着地型商品、体験型観光、食等）や話題性のある地域を設定して出展者を募集し、来場者に旅のテーマを明確にアピールするとともに、ブース内外での体験メニューを充実させ、来場者が旅行に行く前に旅を楽しめるイベントとして展開した。

- ・日程：平成25年11月8日(金)～10日(日)
- ・会場：[メイン]
東京・池袋サンシャインシティ
[サテライト]
JR上野駅・JR東京駅・JR新宿駅
ふるさとアンテナショップ(27店舗)
- ・出展者：123 地域・企業・団体
- ・来場者数：81,287 人
- ・ホームページ：<http://www.tabifair.net/>



平成26年度は、JATA 旅博と統合し、「ツーリズム EXPO ジャパン」として開催する。(平成26年9月25日～28日)



○台北国際旅行博 (ITF) への出展支援

台湾最大の旅行博である台北国際旅行博 (ITF) において、当協会が日本側出展の事務局を務め、日本ゾーンを形成して実施した。

- ・開催日時：平成25年10月18日(金)～21日(月)
- ・会場：台北世界貿易センター
- ・参加団体数：60 国家・地域 900 団体・1,350 ブース
・日本ゾーン：48 団体・110 ブース
- ・来場者数：4日間合計 315,240 人 (前年比 120.1%)



○訪日外国人受入に関するタウンミーティングの開催

訪日旅行の目的として期待されるテーマ（個人旅行、若年層・富裕層の旅行、教育旅行、MICE など）に関する現況把握、課題整理、調査研究を踏まえ、地域が求める外国人誘客方策を議論するタウンミーティングを昨年度に引き続き開催した。

愛知県蒲郡市 平成25年10月11日(金)～12日(土)
栃木県日光市 平成26年1月17日(金)～18日(土)
東京都大田区 平成26年2月28日(金)

VI 新たな観光需要の創造

○ 産業観光・街道観光の推進

産業施設や産業文化遺産等を観光の対象とする産業観光の振興により、地域の観光振興や産業活性化を図ることを目的として、地域での産業観光に対する取り組みや旅行商品化等を促進している。

今年度より、街道という各地域の固有資源を活用した街道観光促進のための手法開発、これらを通じた地域活性化や産業創出にむけた課題や今後の可能性等について検討することを目的として、「街道観光推進会議」を立ち上げ、第1回会議を開催した。また、一般消費者を対象に実施した「歩き」に関する調査結果や、街道が通る自治体に対して実施した街道の観光的活用方法などの調査結果を取りまとめた。



○ 1 ウィークバカンスキャンペーンの展開

夏休みに合わせて、7月にキャンペーンをスタートした。官民連携の国内旅行振興キャンペーンやポジティブ・オフ運動とも連携しながら、WEBサイトをコアメディアとしたPR強化をはじめ例年以上に工夫を凝らしたキャンペーン内容を幅広く展開した。

キャンペーンの概要

- < キャンペーン期間 >
平成 25 年 7 月 19 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日
- < キャッチフレーズ >
“1 年 1 度は、長旅へ。”
長期連続休暇で、いつもと違う「長旅」に出かけよう。
- < 主な具体的活動 >
 - (1) 「第3回旅行川柳コンテスト」の実施
 - (2) 「1 ウィークバカンス」キャンペーンWEBサイトの展開 (<http://1wv.jp/>)
 - (3) 「1 ウィークバカンス」キャンペーンポスター掲出
 - (4) 「1 ウィークバカンス」キャンペーンマスコットキャラクター「たび坊」によるPR
 - (5) キャンペーン賛同企業等による「1 ウィークバカンス」対応商品等の展開

キャンペーンポスター

VII 観光情報整備

○ 全国地域観光情報の発信

若年層の観光情報入手手段がスマートフォン・タブレット端末利用に大きく変化していることから、昨年 9 月に「全国旅そだんモバイル・スマートフォンサイト」を拡充した。

今年度は、四季折々の観光情報、ワンポイント情報等の動態情報に加え、着地型旅行商品やまちあるきコースの紹介など、発信情報の充実を図った。

平成 25 年度のアクセス数は、約 450 万セッション、ページビューは約 1,000 万となっている。



地図検索ページ



トップページ



まちあるきページ

○ バリアフリー観光情報の提供

全国の主な都市の観光スポット、宿泊施設等のバリアフリー対応情報等を冊子にとりまとめ、高齢者・障害を抱える人々及びその同行者等が旅行をする際に有益となる情報を提供している。平成 23 年度から 3 年間の事業で、平成 25 年度は北海道・東北、関東地区を対象とした。

- ・ 23 年度 甲信越静・北陸・東海、関西
 - ・ 24 年度 中国・四国、九州
 - ・ 25 年度 北海道・東北、関東
- 各 25,000 冊発行

VIII 調査・研究

○ 短期観光動向調査の実施

地域の観光誘客戦略立案を支援するために、一般旅行者の旅行意向及び旅行実態を四半期ごとに調査を行った。当協会サイトの会員専用ページにて、今回調査及び過去の調査の詳細結果を掲載している。

平成 25 年度 12 月「短期観光動向調査」結果

◆平成 25 年 10-12 月の宿泊旅行実績

- ・平成 25 年 10-12 月期の国民の宿泊観光旅行実施率は **36.2%** 対前年同期比 1.7 ポイント増
- ・平成 25 年 10-12 月期の地域別宿泊観光旅行天気図（実績）

旅行実績なしも含む全体・人ベース(%)

	北海道	東北	関東	甲信越	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄
昨年度	2.5	3.6	11.1	3.3	4.9	6.7	2.7	1.5	3.8	0.9
本年度	2.1	3.1	11.2	3.3	5.5	7.8	2.4	1.4	4.3	1.0
旅行実績 (昨年-本年)	-0.4	-0.5	0.1	0.0	0.6	1.1	-0.3	-0.1	0.5	0.1

◆平成 25 年 10-12 月の宿泊旅行実現率

- ・平成 25 年 10-12 月期の宿泊観光旅行実現率は **87.7%**

◆平成 26 年 1-3 月の宿泊旅行意向

- ・平成 26 年 1-3 月期の国民の宿泊観光旅行意向は **39.5%** 対前年同期比 2.4 ポイント減

○ 観光総合調査（観光の実態と志向）の実施

昭和 39 年以来、国民の観光需要の動向等についての調査を行い、その特徴を時系列で把握するとともに、年次傾向を明らかにしている。

平成 25 年度は、昨年に引き続き「普段の旅行消費性向から見た求められる旅行スタイル」を特集テーマとし、今後のマーケティングにおける基礎データを得た。

○ 受託調査の実施

観光振興に関する総合的なコンサルタントとして、観光振興計画の策定や観光客数統計調査など様々な観光関連受託事業を実施した。

平成 25 年度の主な実績

- | |
|---------------------|
| ・東京都観光客数実態調査事業 |
| ・東北の観光振興の現状に関する基礎調査 |
| ・函館市観光基本計画策定業務 |



IX 支部事業

北海道、東北、関東、中部、関西、中国、四国及び九州の8ブロックの支部が各ブロック内の広域観光組織や各県等と連携して事業の企画・立案をし、各ブロック内の観光振興を推進した。

地域名	事業内容	
北海道	1. ブロック別広域観光振興事業 ①ホスピタリティ推進 ・北海道観光ボランティア連絡協議会の北海道大会開催支援（函館市で開催） ・アイヌ文化研修会開催（札幌市、釧路市で開催） ・「ムスリムおもてなしガイド」小冊子の会員への配付 ②人材育成研修会 ・外国人観光客受入研修会の開催（函館市、旭川市、帯広市、網走市、ニセコ町で開催）	・おもてなし人材育成研修会（札幌市、釧路市で開催） ③第21回台北国際旅行博出展 2. 地域と連携して実施する観光振興事業 ①おもてなし人材育成研修会 ・おもてなしタクシー乗務員人材育成研修会（会場札幌で6回開催） ②国内及び海外おもてなし人材育成研修会（登別、定山溪で開催）
東北	1. ブロック別広域観光振興事業 ①第21回台北国際旅行博出展 ②東北プロモーションin台湾2013 ・観光セミナー・商談会：高雄、台中、台北 ・表敬訪問：台中、台北 ③台北国際観光博覧会2013出展 ④東北観光情報発信（台湾）	2. 観光交流活性化事業 関東支部主催観光展に参画 ①夏の海と山観光展（大宮駅） ②冬の旅・早春の旅観光展（横浜）
関東	1. ブロック別広域観光振興事業 ①第21回台北国際旅行博出展 ②ふるさと観光展 ・仙台駅2階コンコース ③春の関東甲信越静岡観光展 ・池袋・メトロポリタンプラザ1F ④関東ブロック観光宣伝資料作成 ・中国語・繁体字情報誌 10,000部	2. 観光交流活性化事業 ①夏の海と山観光展（大宮駅） ②冬の旅・早春の旅観光展（横浜） 3. 全国観光振興事業 観光宣伝資料作成 関東ブロック観光マップ 25,000部
中部	1. ブロック別広域観光振興事業 ①第21回台北国際旅行博出展 ・台中市政府、旅行社へPR ②ハイレベルミッション派遣 ・北京市、上海市訪問 ・商談会開催 ③広域観光推進事業 ・街道観光フォトコンテスト ・旅フェア日本2013出展	2. 広域観光の促進事業 ①昇龍道プロジェクトの推進 ②広域観光フォーラムの開催 3. 人材育成事業 中部ブロック観光セミナーの開催 4. 新しい観光アイテムの創出 ①ものづくり文化再発見！ウォーキング開催 ②山車・からくり街道モデル調査事業

IX 支部事業

地域名	事業内容
関西	<p>1. ブロック別広域観光振興事業</p> <p>①関西観光展の開催（関西7府県合同） 次の3カ所で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新都市プラザ（横浜市） ・JR京都駅（京都市） ・ソラリアプラザ・ゼファ（福岡市） <p>②広域観光資料の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェルカム関西観光ガイドマップ（日本語版） ・ウェルカム関西観光ガイドマップ（英語版） <p>2. 観光地域づくり基盤・受入体制整備促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地合同美化キャンペーン <p>3. 観光交流活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の観光PRの実施（京阪京橋駅） ・会員作成の観光ポスター掲出（大阪市曾根崎地下歩道PRコーナー）
中国	<p>1. ブロック別広域観光振興事業</p> <p>①観光（物産）展出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅フェア日本2013出展 ・中国四国9県観光展（JR大阪駅） <p>②旅行雑誌メディア等招請</p> <p>③中国地方観光PR資料作成事業</p> <p>④広域観光推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中国ブロック観光情報交換会」共催事業（年3回） <p>2. 観光地域づくり基盤・受入体制整備促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案型観光地域づくり協働事業（3団体） <p>3. 観光地交流活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域インバウンド推進事業 中国五県広域観光地図（日本語版） 作成予定部数：20,000部
四国	<p>1. ブロック別広域観光振興事業</p> <p>①第21回台北国際旅行博出展</p> <p>②訪日台湾教育旅行誘致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台北市、台中市、高雄市現地説明会 ・四国4県国内視察受入（校長等教育関係者） <p>③中国四国9県観光展（JR大阪駅）</p> <p>④広域観光推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域観光組織意見交換会（年3回） <p>⑤四国観光地図パンフレット作成（繁体字） 四国88カ所案内パンフレット作成（国内用）</p> <p>⑥観光地域づくり人材育成研修の開催</p>
九州	<p>1. ブロック別広域観光振興事業</p> <p>①観光ボランティアの育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第7回九州観光ボランティアガイド大会in長崎」の開催 日時：平成26年1月20日～21日（14:00～） 場所：長崎県長崎市（ホテルニュー長崎） ・まち歩き定時ツアーの促進等 ・九州観光ボランティア連絡協議会代表者会議の開催 <p>②観光人材の育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回おもてなしフォーラムin九州 <p>③九州観光パンフレットの制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内向け九州オルレ8コースパンフレット ・九州観光PRポスター ・九州旅図 <p>④国内観光展等への出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅フェア日本2013 <p>⑤国際観光展等への出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香港、シンガポール共和国、タイ王国 <p>⑥第5回 沖縄映像コンペティション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像による沖縄観光誘客プロモーションツールの制作 <p>2. 地域と連携して実施する観光振興事業</p> <p>①食と観光セミナー（佐賀県内4地域で開催）</p> <p>②長崎半島観光活性化シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> 島原半島における観光の復活と再生に向けて（雲仙市で開催） <p>3. 観光交流活性化等事業</p> <p>①九州・沖縄～Xmas大観光展～（広島県）</p> <p>②韓国語版観光マップの制作（30,000部）</p>